

HSK

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 H・S・K通巻455号

◎発行日 平成22年3月10日(毎月10日発行)

◎発行責任者 鈴木 啓三

◎編集 札幌腎臓病患者友の会

札幌市北区北17条西2丁目2番38

サザンアベニュー北大301

◎発行所 北海道身体障害者団体 定期刊行物協会

札幌腎臓病患者友の会

第91号

生きる 仲間

- 親睦ボウリング大会開催(サッポロオリンピックアボウル)
- 第2回幹事会・書面会議報告《幹事会員の生の声を聞く》



第61回さっぽろ雪まつり大通り会場(ウインタースポーツ王国・北海道)

撮影 庄野一男

医療・福祉制度を 守るために

札幌腎臓病患者の友の会
会長

鈴木啓三



会員の皆様こんにちは。暖冬といわれていたこの冬は、一〇年ぶりの寒気による厳しいものになりましたが、お変わりなく闘病生活を送られていると思います。

昨年は、百年に一度といわれる不況が全世界に広がりましたが、中国など多くの国が不況を脱し業績を伸ばしていく中、日本の企業はなかなか景気回復できずにいるところに、業績回復の先頭に立っていたトヨタ自動車がりコール問題などでつまづいてしまい、日本の景気はどうなってしまうのか心配なところです。

さて、私は一九七〇年（昭和四五年）に岩見沢市立総合病院で透析を導入し、今年の五月で満四〇年になるので、二〇一〇年を迎えられたことは、大変幸せなことだと感謝しています。その頃透析は人工腎臓といわれていて、ダイヤライザーはスタンダードキール型といって、毎回スタッフが透析膜を張り替えて透析をする、今とは比べ物にならないほど透析効率が悪い機器で一回八時間もかかり、医療費の関係で週二回しか透析してくれなかったので、食事や

水分の管理は大変厳しく、一日の塩分摂取量は三グラム以内で蛋白質は四〇グラム、次の透析までに体重が二kg以上増えたと一回の透析では除水しきれませんでした。

また、透析の機器も足りなかったため、医療費がかからない社会保険本人がお金のある人しか透析に入れませんでした。

そして、何とか透析を導入しても二〜三年しか生きられないといわれていて、実際に透析患者は次々に亡くなっていきました。さらに大学卒の初任給が四〜五万円といわれていた当時に、医療費が一ヶ月に二〇〜三〇万円もかかりましたので、父母はもちろん兄弟や親戚にまで多大な金銭の負担をかけました。

このような状況を救ってほしいと、一九七一年（昭和四六年）六月に先輩患者たちが全国腎臓病協議会（全腎協）という組織をつくり、国会請願活動や各省庁要望などを、生きていくのも大変な患者自らが命をかけて活動して、医療関係者・行政関係者、国会議員など多くの方々のご協力により、一九七二年（昭和四七年）一〇月



マスク姿での臓器提供者拡大街頭キャンペーン



定期総会風景

より身体障害者福祉法の内部障害が適用され、透析の医療費はほとんどかからなくなりました。

現在私たち透析患者は、他の病気の患者さんに比べて大変恵まれています。外来透析だけなら、ほとんどの透析患者は食事代と小額の医療費自己負担ですし、ほかの医療機関を受診しても、少ない医療費ですみます。障害年金を受給している患者さんも多くいると思いますし、税金の控除やJR・航空運賃・有料道路料金なども割引され、札幌市の障害者交通費助成制度も利用でき、その他数々の医療・福祉制度の恩恵を受けています。

しかし、この私たちの恵まれた医療・福祉制度は、国と地方自治体の財政難により切り下げられてきており、私たち透析患者にも医療費自己負担の波が押し寄せてきております。

札幌市においても、平成一九年一〇月に出された札幌市の行財政改革の中で、心身障害者に対する交通費助成制度見直しで、福祉乗車パスを廃止して、福祉割引ウィズユーカードを二万四千円分に、

福祉タクシー利用券・自動車燃料券も二万四千円分にする案が提示されました。

札幌腎友会ではすぐに反対活動を始め、結果平成二一年度からの実施は見送りになり、皆様ご存知のとおり重度障害者については、今までと同程度の交通費助成をしてもらえることになりました。

札幌腎友会では、今年度は五月の定期総会に始まり、九月には初めての試みとして茶話会を実施しました。その後、新型インフルエンザの影響で、臓器提供者拡大街頭キャンペーンは時間を短縮して実施し、一〇月の幹事会は書面会議とし各幹事に書面で意見を出していたが、昨年からの計画して準備を進めてきた三五周年記念の集いと一〇年の長期透析者の表彰式も中止し、表彰状は送付しました。二月には親睦ポウリング大会を実施し、国会請願署名募金運動にも取り組み、資金造成活動として北海道難病連のピアガーデン利用券販売と、正月飾り販売にも取り組み、機関紙『生きる仲間』も三回発行して、当初計画された活動は、一部新型インフルエンザの影響に

より延期・中止になりましたが、会員の皆様のご協力と役員の皆様の努力により、おおむね実施されたことに感謝し、お礼を申し上げます。

また、会員の減少に歯止めをかけるために組織検討委員会を設置し、毎月一回会議を開いて今後の活動について検討してもらい、様々なご意見を提案していただきましたので、来年度からの活動に活かしていきたいと思っております。

今、私たち透析患者は現在の恵まれた医療・福祉制度を守る運動を、自分自身のためだけでなく、今後不幸にして透析導入する人たちが、医療費や生活の心配をしないですむように、患者一丸となって活動していきましょう。

札幌腎友会の会員数はこの数年減り続けて歯止めがかかりません。会員の皆様のまわりの患者さ

んの中に、まだ会員になっていない方がいましたら、ぜひ入会していただけますように、一声かけていただきたいと思います。



臓器提供者拡大街頭キャンペーン(札幌大通公園)

恒例

2010親睦ボウリング大会 in サッポロオリンピックアボウル

五〇余名が参加して汗を流す

二月一四日、バレンタインデーの朝。友達を迎えに来てくれて家族四人で東橋の手前にあるオリンピックアボウルに到着した。朝早いというのに、たくさんの人が集まってくる。ボウリング場に足を踏み入れるのは一五年ぶりだ。真冬の運動不足を気にしていた時だったが、やっぱり身体が動かない。古希を目前に自分の老化を自覚しながらレーンに立った。目はかすんでいるし、焦点が合わない。目の前のスパツが目に入るまでには時間がかかった。軽い運動のほすのボウリングが、下半身が動かないために結構なプレッシャーを感じさせる。

「あ、痛てて」と声を上げながらの二ゲームは冬眠中の私には十分だった。隣のレーンで投げている坂事務局長は、元気なボールを連発、黒でスタイリッシュにまとめた実行委員長の高柳さんは若々しくスムーズな投球でストライクを連発していた。病院や腎友会の

事務所で見る姿とは違ってずいぶん元気で人間的だ。成績は下記の通りでした。(敬称略)

和やかな空気の中でカレライスを食べながらの表彰式。星野泌尿器科の患者さんが多数。院長先生自らが参加して物心両面の応援をしていてくれるという。明るい表情の院長先生にお礼の挨拶をした。患者さんたちへの優しく明るい雰囲気伝わってきた。いろいろな病院のスタッフも参加してこんな雰囲気広がることを願って三時間ほど楽しんだ。翌朝、体の筋肉があちこちで悲鳴を上げていたが気持ちは明るくなっていた。冬場の運動として貴重な体験だった。時々ボウリングをやってみようかと思いは始めている。幹事さん、関係者の皆さん、ご苦勞様でした。次回にはもっと多くの方が初体験できるとよいですね。

高須喜久男(NIT東日本病院)

女性の部
順位表(平成二年度)



優勝 水林尚子
(星野泌尿器科) **261**ピン

準優勝 沖田裕子
(手稲子クリニック) **220**ピン

三位 岸本久美
(星野泌尿器科) **214**ピン

四位 小澤由紀恵
(宮の森記念病院) **214**ピン

五位 工藤るみ
(三樹会病院)

フービー賞 梅田阿千代
(星野泌尿器科)



男性の部左より準優勝上野さん、優勝太田さん、3位外崎さん



女性の部入賞者左より準優勝沖田さん、優勝水林さん、3位岸本さん



おみごとストライク星野先生



福原副会長



高柳実行委員長

順位表平成二年度	男性の部	
優勝	太田 敬二郎	409 ピン
準優勝	上野 学	372 ピン
三位	外崎 優貴	334 ピン
四位	西川 博司	292 ピン
五位	齋藤 正隆	291 ピン
七位	谷口 英俊	
一〇位	坂 孝光	
一五位	外川 純也	
ブーイ賞	三上 幸彦	

(星野泌尿器科) (星野泌尿器科) (星野泌尿器科) (星野泌尿器科) (星野泌尿器科) (札幌北榆病院) (札幌南一条病院) (はまなす医院) (宮の沢泌尿科クリニック) (袴踏はまなすクリニック)

平成21年度第2回幹事会 書面会議報告

事務局より

第2回幹事会は、新型インフルエンザの流行・感染を懸念して、会合を中止し幹事の皆さんには書面にてご意見の提出をお願いしました。74名中30名の方から返信をいただきました。一つひとつ報告や検討事項に、たくさんの貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。いただいたご意見は、検討させていただき、すぐに実施できる事柄に関しては次回の幹事会で提案する次年度の活動方針・活動計画に反映したいと考えています。次回の幹事会でも、幹事の皆さんの忌憚のないご意見をいただけたら幸いです。また、ご不明な点等がありましたら、いつでも事務局までご連絡ください。よろしくお願ひします。(皆さまからのご意見をそのまま掲載)

一. 報告に対するご意見

(1) ビアガーデン利用券結果報告

- 幹事として、若干少なすぎると反省しています。
- 初めての幹事なので売れなかった。
- 水分の過剰摂取を避ける意味からも飲まないようにしている。
- ビアガーデン利用券を販売する意義は何ですか、これを売ることでより会員の患者にどのような利益があるのですか。
- 世の中デフレ傾向の中、プレミアが無いのが残念です。
- 土曜の夕方、大通へ行ったが盛況でほぼ満員でした。
- 一枚でも多く買っていただこうと頑張りました。
- 金額の大きさに驚きました、皆さんで頑張りました。
- 期間がビアガーデン中ということでお店で使えても夏の期間だったと思うのですが、もう少し券の使用期間が長いと嬉しいと思います。
- 当施設は利用申込者なし。

(2) 臓器提供者拡大街頭キャンペーン報告

- 時間が短かったと思います。
- 協力機関の方には、短時間とした理由を事前に周知したのでしようか。「昨年は一時間だったのに」との声が聞えてきました。
- 最近では参加せず申し訳なく思っています。(他数名)
- 参加者の皆様、ご苦勞様でした。
- 初めて参加しました、とても大事なキャンペーンだと思いましたが、参加者も多い方が良いと思いましたが、会員の中には体調のすぐれない方も多く、考えていかなければならないと思いましたが、毎年、参加者が減少していくのは残念です。事前の準備に工夫が必要でした。(実行委員の一人として責任を感じます)
- 初めて参加させていただきました、大変勉強になりました。
- 現状維持が良いと思います。

- 前年より参加者がやや増えたが、いま一息の努力を要する。
- 参加できませんでした。(他数名)
- 大変ですが、知らない人もいらっしやるので続けていく事が大切だと思いました。
- 札幌市内の移植希望者は何人いるのでしょうか、腎バンクと相談してキャンペーン参加者はポイント加算等の検討は願えないものでしょうか。他力本願が多過ぎるような気がします。

(3) 三五周年記念事業について

- 実施出来ず、実行委員として準備不足を反省してまます。
- 参加費四、〇〇〇円は高いと思います。また、中止になったのは残念に思います。
- 施設内で興味を持たれるのは幹事さんくらいで皆様反応なしです、式典の必要があるのでしょうか。
- 個人的な意見ですが記念事業は大きな節目で(一〇年おきなどが)良いと思っています。経費の節約にもなりますので。
- 今回の中止の処置は正しかったと思います。
- インフルエンザの流行により、中止にしてもやむを得ないと思います。
- 今回は中止で正解と思いますが、次回まで五年(四〇周年)待つて良いかどうか。
- 中止は良かった、好判断と思いました。
- 中止は残念ですがしかたないでしょう。これからも一人ひとりが気をつけましょう。
- 時節柄良い判断だったと思います。
- 一〇年目というのは一つの節目だと思えますので、記念事業は続けた方が良くと思います。

(4) 長期透析者表彰について

- 表彰というのはピンとこない「長期闘病慰労」という表現が良いのではないのでしょうか。
- インフルエンザの為、多少月日が延びても表彰式はした方がいいと思う。

- 表彰は必要ないと思います。医療も発達してきて、長生きが可能になってきているから。
- 膨大な医療費をかけて透析を受けている身にとっては表彰はおこがましい気がします。
- 私は既に戴いてますが申し訳ない気持ちでいます。
- 初回は一〇年目、次は一五年目、二〇年目と五年毎に表彰してはどうでしょうか。
- 透析患者が年々増えるので表彰する費用は大丈夫なのかと思います。
- 個人的な意見としては記念品は必要なく、表彰状のみで良いのではないのでしょうか。
- 会員さんにお渡ししました、喜んでいました。
- 長期透析お知らせの該当者があれば、会員さんにお渡します。
- 表彰式を楽しみにしていた人もいたでしょう、でも今回は中止の方が良いでしょう。

(5) 札幌市障がい者交通費助成見直しについて

- ご努力に感謝します。
- 等級に差があるとは残念です。
- 私達には一番気になる問題です、予算が無いとの理由で削られるのは心外です。
- 身近な効果を感じる。(敬老バスに準じた制度にしてはどうか)
- 大事な事なので、出来ることは協力したいと思えます。
- 透析患者の中にも障害者手帳三級の方がいる事を知りませんでした、勉強不足でした。
- 今後の行方も大切と思いました、頑張りましょう。
- 障害の等級による差がなくなるようになってほしいと思います。日頃の役員の方々のご苦勞に感謝します。
- 市と話し合われた役員の皆様ご苦勞様でした。今後も協議の場があるとあります、都合がつけば応援いたします。
- 交通費助成は大事な助成ですので協力を惜しみません、是非宜しくお願いいたします。
- 更に推進する。(現状維持が最低ラインだと思えます)
- 要望書提出はいつですか。

- とても助かっています。これからも市と話し合って良い方向になるよう努力して行った方が良いと思います。
- この制度には本当に助けられています。もしこの制度がなければ毎年八〇、〇〇〇円位の交通費が掛ります。年金生活者にはとてもまかないきれません。皆さんで頑張つてこの制度を守りたいです。
- 障がい者を偽り、公金を騙し取る者(本人・医師等)が多発しています。助成金は各障がい者団体経由で申請する事によって悪質者は除外出来ると思います。
- 交通費は、とても必要なものなので色々な障害を持った方々が協力し合いながら、運動を続けて行く大切さがわかりました。
- 要望書提出の署名活動があれば、署名の協力をいたします。

(6) 組織検討委員会報告

- 委員の件は、法人会員の増強の必要性を感じます、専門の委員を任命して積極的に施設訪問を実施する。
- 組織検討委員長及び委員の皆様の活動に敬意を表します。
- 委員会は順調に進んでいると思います。
- 組織検討委員会の果たす役割(目的)何ですか。
- 道腎協・札幌の分担化は大賛成ですが、情報管理の件との整合に工夫を要する。情報・考え方・統一性など。
- 今、自分では入会のお誘いというより腎友会の活動報告などをアピールして、黒板に書いたりしながら、非会員の人達に伝えていければと思っています。小さいけれどもポスターを書いたり署名は会員さんに限らず薦めています。
- 会員の協力を計ろうとしていますが、透析患者の新しい方は透析が始まったころ来院するので話し合いができない。また、早く帰るので顔を合わすことがない。

(7) 機関紙“生きる仲間”について

- 情報交換の場として身近な内容で編集充実を。
- 楽しみにしています。
- 九〇号の発行ご苦労様でした。

- 現状維持で良いと思います。
- 記念事業中止の中、記念特集号としたが記事(寄稿)が集まらず残念。
- 楽しみにしていますのでこれからも続けて下さい。
- 何時も楽しみにしています、この機関紙によって透析患者の様子が伺い知れて大いに勇気づけられます。
- 四〇〇字以内にとまとめるのは難しいものですね。
- 内容が良いので、重要な処は拾い読みしている会員だけに知らせる。
- 年配者は目の悪い方がいるので、あまり読んでいない様です。

(8) 正月飾り販売について

- 今年是利用させていただくのと、施設内の宣伝に努めます。
- 例年通り注文があり、毎年販売を続けてよいと思います。
- 毎年購入者なし。
- 収入源としては必要だと思いますが、今までの収益と比べて増えているのか、減っているのか、減っているのであれば要検討。
- 各施設の幹事に目標額を示して、事務局として雑収入の目標を決める。
- 会員数六名では注文人数が限られ、自分から曜日の違うあまり面識の無い人に注文は取りづらい、病院の方に腎友会の方からお願いする方法はないかと思えます。
- 注文を取って歩くのは大変ですが、利益につながるので続けた方が良いと思います。
- 今は、昔のように正月飾りをする人が少なくなりました。マンション・アパートとかで飾る場所がないのかもしれない。私も飾りはしていません。
- 会員全員に配布出来るだけのパンフレットと申込書を用意するのは無理なんでしょうか。
- チラシを回覧したが申込者なし。

(9) 国会請願署名・募金活動の実施について

- 一人暮らしの人は沢山の署名・募金は難しい。

○諸事情で現役から離れ、人脈が少なくなり、署名してくれる人がいないと言う人が多くなり年々厳しくなってきました。
○会員以外是非協力者が多く他人事のような態度が多く見られ、悲しく思います。(病院スタッフ・親戚・友人・知人をお願いしています)

○署名の枚数は一人二枚と限定せず、幹事に一括して頂けませんか。四名しか書いてこない人など会員さんは、色々の考えを持っています。幹事と会員とで話し合って枚数を決めると二度手間になりません。

○会員・非会員を問わず全員の参加を呼びかける。

○会員の皆様大変ですが、これからも続けるべきだと思います。

○最近知り合いも少なくなり二〇名集めるのも大変です。でもこれだけはやらなければならぬと思ひ頑張っています。

○全腎協の請願内容は総花過ぎませんか、もつと的を絞った請願をしたいものですね。

まあ、それだけの人材もいないでしょうが。

○非会員の方にも署名用紙を渡し、募金の部分も読んでもらえ、募金をくれる人もいて、何で今迄こうしなかったのだろうかと思っ
ています。色々なやり方をためしてみたいと思います。

○協力者にいつもお願いしています。

(10) 幹事新年会について

○開催を楽しみにしています。

○実施に賛成します。

○参加者が減少してきています、内容に一工夫が必要なのでしょうか。

○新年会をやる意図は。

○会員はもとより家族も参加できる様な企画を組んでは。

○早めに通知をお願いします。

○親睦と色々な話が出るので良いと思います。

○新年会と幹事会の同日開催は出来ませんか、幹事会(午前)・新年会(午後)とでもしたら参加者が増えるのではないのでしょうか。

○今年はお風呂があつて楽しかったです。
○事務局に一任します。

(11) 文化交流活動(ボウリング大会)について

○誰でも簡単に出来るスポーツなので、参加した皆さんと和気あいあい楽しく出来るのが良いです。

○二月の活動を一〇月とか、十一月の雪が無い時期なら参加者も多くなるのではないのでしょうか。

○二月は天気は悪く出るのに大変です。もう少し暖かい時に出来ないでしょうか。

○当施設は参加希望者無し。

○実施に賛成します。

○炊事遠足を復活させたいですね。

○現状維持が良いと思います。

○昼食付でゆとりのある会にしたいと思います。

○手・足等痛くなつてきてボウリングも大変ですが、出席される方がいる限り続けた方が良いと思います。

○足等、体調が悪い者がほとんどで、出席者なしです。

○以前、参加した事がありますがとっても楽しかったです。当時は昼食付で食事中的表彰式が楽しかったですが、今は食事なしなので楽しさ半減です。

○元気な方々で大いに楽しんで下さい、対象外の患者が多数です。

(12) 茶話会について

○定期的な開催は良いと思います。出来るなら年間予定表を作成し、事前通知をした方が良いでしょう。

○透析、その他色々な話が聞けてよかったです。

○「しつかり透析して、食べて運動して、元気になろう」をテーマとした勉強会の内容をもつと詳しく知りたい「生きる仲間」に出してほしい。

○工夫して活発化、きっかけをどう作るか。

○有意義だったようで、次回は私も参加してみたいと思います。

○今年が参加できませんでしたが次回はぜひ参加したいと思っております。自分が参加して会員の友達にも話しをしていきたいと思ひます。

- 今後も継続して取り組んでほしい。
- 現状維持で良いと思います。
- 会員・非会員を問わず、生きる仲間へのせれば。
- 駐車場等、交通アクセスについての情報を聞き漏らした。
- 出席しなかったのでよくわかりませんが、なごやかで色々な話も出たようで良いと思います。
- 大変勉強になりました、青年部の皆さんご苦労さまでした。
- 勉強もしながら自由に話し合う時間って、今まで有ったようではなかったような気がして、とても良い時間だと思っています。

(13) 会員拡大と全腎協、新型インフルエンザ、チラシ配布のお願いと施設訪問について

- チラシを持参し、お話しをいたしましたでしたが、すでに施設では注意事項を作成し配布されており、遅すぎた感じがしました。
- 施設訪問について反省点を出し合っただけでどうでしょうか。
- 当施設はなかなか難しいと思いますが、出来るだけご協力いたします。
- 施設訪問は事前の準備、各施設の現状、目的など十分な意思統一を行い実施した方が良いでしょう。今後も継続していくのが良いと思います。
- チラシの意味は殆どなし。施設訪問は大切。施設によって大差あり。
- 現状維持で良いと思います。
- 幹事会を開かず、個々の連絡ではどうか。
- 新型インフルエンザのチラシ配布が、会員拡大に結びつくとも思えません。各施設側ですでに実施していることですから、それとも入会した人だけワクチン接種できるなら別ですけれど。
- 自分の通院している病院に訪問していただけますので、私ひとりでは伝わらない部分（先生）にまで入っていく、お願い出来る機会はとても心強く思います。病院側の意識が強くなってくると良いと思います。
- 先生に、とても良く出来ているチラシであるし、今後も新型イン

フルエンザに関しては、注意してもしすぎることは無いということとで、全員配布を快く承諾していただきました。

二. 平成二二年度の活動・行事についての意見

- 会員増強月間を作っては。そして、それなりのチラシ・ポスターを作成する。
- 患者にとつて大事で興味あるテーマを選択して下さい。
- 国・道・市の動向により活動が必要になるので、それらを見極めて活動を予定、行事はこれまで通りの方法でよいと思います。
- 行事に関してもそうですが形骸化しているよう見受けられます、腎友会のはたすべき目的を見詰め直し、今後の活動を考えるべきだと思います。
- 年内に会を開催してはどうですか。
- 新年度の会員募集は三月中に配布できるように、全腎協・道腎協に働きかけて下さい。
- 幹事を続けることで、やっとな患者さん達となじみになり余裕ができて、配ったり、集めたりで精一杯だったのが、やっとな活動らしいことをしていこうかと考えられるようになった気がします。
- 例年の通り実施して下さい。

三. その他に関しての意見

- 病院側からも積極的に腎友会を推進していただけると有り難いのですが、個人情報等のせい、新しい方・亡くなられた方など幹事の方に伝わりません。
- 会員・非会員の区別がつかず（恩恵は同じ）年々、会員になる人が減っている感じがする。また、役員になって仕事をすることを嫌う人がいる。
- 過去に経験しなかった激変の世の中、相当の覚悟が必要になりそ

- 小さな単位で幹事さん方の話し合いの場を持って頂きたい。
- 茶話会のような小規模な学習・交流会を複数回行なってほしい。
- 会費納入袋が一年ごとになっていきますが、経費削減の意味から一枚の封筒で数年使用する方法の物を作ってみては如何でしょうか。
- 何時も活動ありがとうございます、あまり役に立っていない事を心苦しく思っています。行事等、少しでも参加していきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。
- 私は少しの手助けが出来ればと病院内の仕事を中心に幹事として名を連ねています。
- 皆様にお世話になるばかりで申し訳有りません。宜しくお願いします。
- 炊事遠足を行って下さい。
- 「入会してもしなくても変りは無い、前に入っていたけど止めた。」と、入会を勧めても全体にそんな雰囲気やりづらい。
- まだ幹事になりたてで何もわかりませんが、宜しくお願い致します。
- 年を取ると文字を書くのが大変です。もう書きたくありません。
- 事務所の移転を検討して下さい。道腎協と同調すれば現行賃料(両会)以内で3LDK位は借りられるでしょう。一五人位の会議は何時でも開催出来るように事務室とは別に部屋が欲しいものです、古いマンションなら買ってもいいのではないのでしょうか。
- 会員さんは年配の人が多く、今は「ぜんじんきょう」とかも読めない人も多かったり、非会員さんには情報は伝わっていないし、地道に活動内容を伝えていこうというのが今の目標です。



平成
22年度

札幌市障がい者交通費助成制度、 4月1日一部より変更

皆様のご協力で重度1・2級は現行と同じとなりました。しかし、3・4級は、タクシー券(1万3千円)・ガソリン券(1万円)から選択できるようになりました。しかし、福祉ウィズユーカードが4万8千円分と現行と比べ実質半分になった事は透析の方で3級の方もいることや精神障害者3級の方の現状を真剣に考慮してはいない点で問題が残りました。

また、先日各施設にお願いした「札幌市障害者の交通費削減に反対する連絡会」に賛同している精神障害者団体による「精神障害者手帳保持者にも、身体・知的障害者手帳保持者と同等に公共交通機関利用の運賃割引制度(半額)の適用を求める署名」にご協力ありがとうございました。(札幌腎友会625筆・全体で2,500筆超、平成21年12月市議会に要望書を提出、継続審議となる。)この精神障害者への交通事業者の運賃割引の適用は、一つの障害の福祉の向上が障害者全体の福祉の向上に影響を与える事、4月から施行される道の「障がい者条例」にも障害者の交通権が謳われている事から、是非実現されるべきものと考えます。

すでに、他助成からの切替の福祉乗車証の申請・ウィズユーカードの申請が4月1日から始まるのを除き、福祉乗車証の更新・タクシー券・ガソリン券の申請は始まっています。
(お住まいの区役所にて申請手続)

《《《《《 ひ ろ ば 》》》》》

ろうそく出せせよ

出さないとかつちやくぞ

おまけにくいつくぞ!

子供たちのにぎやかなはしゃいだ声が響いてくる。旧暦の七夕の日(八月七日)の夕暮れのひとときである。四・五歳の子供たちが、かたまつて一軒いっけんドアをたいて廻つて来る。浴衣を着て下駄の音を、からころ響かせて廻つて来る。

どこの家もろうそくといくばくかのお菓子を用意していて子供たち全員に配る。

長女が七歳のころの旭川での思い出である。

あれから何年たったことだろう。四〇年近くもたった。

その長女が富良野方面に旅行に連れていってけると言う。娘婿が車を運転して乗せて行つてくれるという。同行するのは娘夫婦とその子供二人、それに私たち夫婦で全部で六人だ。

富良野方面と聞いて三浦綾子氏の小説「泥流地帯」の舞台を思い出した。

「泥流地帯」を久しぶりに読んでみた。作者の心の優しさ、強さが伝わってくる。

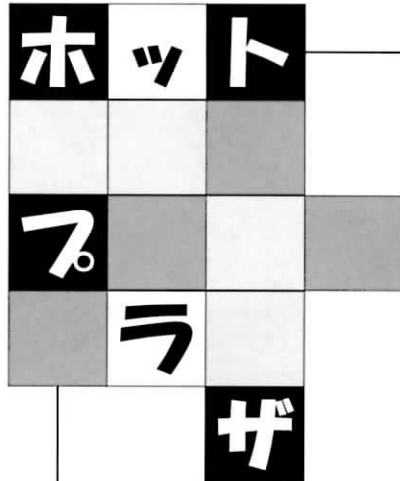
この小説は大正一五年の十勝岳の大噴火とそれに伴う上富良野地方の農村の、人も家も泥流に押し流された悲惨な実情を描いた話だ。秋のある日、午前八時頃札幌を出た。

前日まで台風が来ていて、台風一過晴れとはいかず、雲の多い札幌

の作品が数多く展示されていた。余談になるが当時旭川の豊岡町に住んでいた。そのころおなじ町内会に三浦綾子さんが住んでいた。懐かしくて豊岡町に行つてみた。

当時住んでいた「ひまわり荘」はなくなつていたが建て替えて名

富良野方面旅行記



ただふみ
佐藤 惟文
(ていね泌尿器科)

幌だった、それでも岩見沢を過ぎる頃から青空が広がってきた。

三浦綾子氏の小説「氷点」の舞台になった旭川の、鬱蒼とした見本林の中の、三浦綾子記念文学館を訪れた。そこでは没後一〇年の記念行事が行われていた。小説「泥流地帯」の取材メモや三浦綾子氏

の作品が数多く展示されていた。余談になるが当時旭川の豊岡町に住んでいた。そのころおなじ町内会に三浦綾子さんが住んでいた。懐かしくて豊岡町に行つてみた。

前も変えて「ひまわりペンション」として残っていた。四〇年前いつも買物に行つていた商店が名前も変えずそのまま残っている。懐かしい。

次に旭川空港の近くの山の中にある手打ち蕎麦屋「蓬」を探す。山の中をいくら車で走ってもたど

り着けない。本当にこんな山の中にあるのだろうか。と思った瞬間ひよつと蕎麦屋が現れた。赤く紅葉した木に囲まれたかわいい蕎麦屋であった。昼頃ついた。お客であふれて居た。新蕎麦の「鴨なんせいろ」を頼んだ。鴨の肉も大きく蕎麦も歯ごたえがありたれもだしがきいていてとても旨かった。早く着いてよかつた。帰りに入り口を見ると「今日はこれでお終い」という札が下がっていた。

それから美瑛に行き、木立に囲まれた、とんがり帽子と赤い屋根のある美馬牛小学校の前を通る。赤い屋根が印象的だ。「四季彩の丘」で、赤い「けいとう」の花で色どられた花畑を見て、故前田真三氏の「拓真館」で美しい美瑛の写真を鑑賞する。やや斜めに傾いて物思いにふけている様な「哲学の木」を丘の上に見つけ旭川に戻り東神楽のホテル「森の湯花神楽」のコテージに一泊した。

次の日、また美瑛に行き十勝岳に向かう道の左側に、一面に広がる菜の花のような「きからし」畑の黄とその遠景に広がる、からまつ並木の黒と雪を戴いた山々の白との素晴らしいコントラストに見

《《《《 ひ る ば 》》》》

とれる。

両側に分かれて続くそのカラマツ林は、さながら青黒い屏風のようだ。その青黒い屏風を切り裂くようにまっすぐ伸びた道の先端に、白く輝く雪をいただいた十勝岳を見る。

それをすぎると、今度は両側に長々と黄色に色づいた白樺林が続く。

この林は、大正時代の十勝岳噴火、泥流の跡に自生したものである。その中の「白樺街道」を過ぎ、程なくして山に入り、白金温泉に着く。

温泉では「ブルーリバー橋」の上から硫黄の影響で見事にパステルブルーに輝く「白ひげの滝」に感動し、そのあと「望岳台」に向かう。

「望岳台」から見た、十勝岳の頂上付近は雪に覆われていて、雄大で峻烈であるけれど、その反面美瑛や上富良野方面の田畑は穏やかで豊かな実の秋を迎えて黄色く色づく。

今はこの豊かな大地も、先人たちの血と汗の開拓の結晶なのだ。忘れてはならない。

それから道の隅に雪の残った

「十勝岳スカイライン」を通り、十勝岳温泉に着く。十勝岳温泉はすでに雪に覆われていた。「湯元凌雲閣」の前では雪の上で、子ギツネがカラスを追いかけて狩のまねをしている風景に会い、それから山を下り、かつて噴火の激しい



美瑛の丘に立つ哲学の木

泥流に流された上富良野方面を通り、富良野市に行く。

富良野では、新富良野プリンスホテルの前にある倉本聰氏起案による深い森の中の「ニングルテラス」を訪れた。彼の著書「ニングルの森」の中でニングルはアイヌ

語で、ニンは小さい、グルは人間という意味だと書いている。ニングルとは単なる「森の妖精」ではないと明確に言い切っている。妖精でなく小さい先住民族なのだ。先住民族ということでは北海道の開拓の歴史が鮮明に現れてくる。

鬱蒼とした森の中で先住民族の心にかえって古い大きな樹木と会話をしてみる。心が洗われたような気がする。

その中の小さな喫茶店「チュチユの家」でコーヒーを飲み、手造りのオルゴール、万華鏡、ガラス細工や森の楽団の人形等を買っている一五店ほどの小さな小屋を見てもわる。

そして小枝で作ったグラランドピアノを弾く人形を、孫にプレゼントし、私もチェロ、バイオリン、トロンボーン、トランペットを弾く人形を買い、桂沢湖、三笠市を経て札幌に戻ってきた。

富良野、美瑛方面は高い山岳や広々とした丘陵や色とりどりの花畑や畑にあふれ、まるでパッチワークを見るような美しさだった。

倉本聰氏のドラマ「北の国から」では、富良野の山間部の麓郷の、裏の森にキタキツネやエゾリスが

現れるような豊かな自然とそれらと共生して素朴に生きている人々の生活が描かれている。その反面沢の水を引いて水道を作ったり風力発電を工夫したりそのたくましい生活力が描かれている。しかし猛吹雪の中では風力発電も水道も役にたたず、こうなると文明機器の無力さを感じさせる。そんな猛吹雪の中で車が動かなくなり命の危険にさらされ、人を年老いた一匹の馬が助けるといふ皮肉な一面が描かれている。

その馬も年老いてやがて売られてゆく運命にあった。

華奢で虚飾に満ちた都会文明への批判でもある。

夕暮れが迫ってきた。前方の赤い夕映えが美しい。

北海道の大自然を満喫する充実した旅だった。

やがてあの長い厳しい冬がきて、水ぬるむ春がきて、そして富良野の麓郷の里でも、あのキタキツネやエゾリスが飛び回り、人々が躍動し、新緑が映える初夏が来るだろう。



感動することは尊敬すること

〜山田洋次監督のお話〜

大関裕美子(透析26年)



山田洋次監督の『おとうと』が全国公開されています。吉永小百合の『弟』役を笑福亭鶴瓶が演じています。是非、映画館で観ていただきたいと思います。

今となつては宝物の様な話ですが、三三年前、映画サークルの仲間七人と車二台で夕張のロケに行きました。仲間が台本を持っていましたので、映画のラストを再現してみました。車は坂を登り、踏み切りを渡ります。やがて丘の上に着いて、『黄色いハンカチ』は何処にあるか？映画と同じに私たちも捜します。「あつたー！」と誰かが

指を指した方向に、それは遠くで三角の形で揺れていました。私は、この『幸せの黄色いハンカチ』を観る度に、三人の出演者と同じ気持ちを持ち共有します。

私たちは、ロケ隊が帰宅した夕食時を目指して旅館を訪ねました。玄関で山田洋次監督に「是非、お話を聞かせてください」と頼みましたら、監督は「誰と話したいのですか？」と聞かれたので、「勿論、監督です」と仲間は答えました。私は驚き、どうして監督と話したいの？…だつて目の前に健さんも倍賞千恵子もいるのになんて思っていました。

通された部屋(化粧室)に監督と私たちだけです。仲間は、「こんな機会はめつたにないから、一人必ず何か質問するんだよ」と言

い、私たちは一列に並びました。

監督のことを知らない私は、何を質問したらいいか解らず、頭の中は一寸したパニックです。すると、前の人の質問に、「僕は、いい映画を創りたいんです。」と答えたので、私の質問は「いい映画ってどんな映画ですか？」になりました。監督は、「いい映画を観ると人は感動する。感動することは、自分を尊敬することになる。自分を尊敬できる人は、他人も尊敬できる。そうすると、人と人が仲良くなるでしょ。だから僕はいい映画を創りたいんです。」その言葉聞いた時、私は「映画は監督が創る」とはつきり解りました。

また、「寅さんの結末はどうなるのか？」との質問に「寅さんは遊び人ですから、ろくな死に方をしないでしよう」と答えていました。後で考えると、監督の照れ隠しの言葉だつたように思います。時々『男はつらいよ』を観るのですが素晴らしいです。だつて、可笑

しいのに悲しい場面が同居しているのです。例えば、リリーと寅さんの出会いのシーン：波止場でお父さんの乗った船を、母と子ども達が走つて送り出す「いつてらっしゃーい」：そんなシーンをバツクに寂しい音楽が流れ、「ねえ、私たちがみたいな生活って、あつてもなくてもどうでもいいような、つまり泡みたいなもんだね」とリリーが言う。「うん、泡だよ。それも上等の泡じゃないね。風呂の中でこいた屁みたいなもので、背中に回つてパチンだよ」：ここで観客は笑います。寅さんには何も無い。家庭も無い。地位も名誉も無い。「でも、お兄ちゃんは皆が持っていないものを持っている」と言い、「なんだよ？」と寅さんは言う。すると、さくらが「愛よ」と答える。『男はつらいよ』に出てくる人たちは皆、「それでもいい」と、許しあっている。私はそんな山田洋次の世界に安心してしまします。

(東苗穂病院)

札幌腎友会 幹事新年会

今年積雪が少ないと喜んで居たのも束の間一月一七日の大雪により例年通りの積雪となってしまいました。

さて今年の幹事新年会は二一名の参加で一月一七日(日) 一二時より「KKRホテル札幌」にて開催しました(会費は自己負担)。

坂事務局長の司会進行と鈴木会長の挨拶で始まりしばし歓談のひとときとなり私も久しぶりにビールを飲みお腹もいっぱいになり、その後ビンゴゲームとなり大変盛り上がりました。坂事務局長が自

腹で集めた景品が当たるときに歓声が上がっていました。最後は大野副会長のご挨拶で締め切りました。この様な会に出席するのは私自身初めてであり電話でしか話したことがない幹事さんと会えて大変有意義に過ごせました。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。又今回の開催につきましては坂事務局長は休日出勤して準備をしていただいても感謝しています。ありがとうございました。

(報告・中村正仁)

茶話会(第二回)のご案内

昨年引きつづき二回目の

茶話会を開きます。

詳細は下記のメールアドレスまで

札幌腎友会青年部

togawa@kta.biglobe.ne.jpまで

■正月飾り販売結果報告

(平成21年度)

施設名	販売売上額	還元金
稲積公園駅前クリニック	57,590	11,518
小笠原クリニック付属外来プラザ	7,790	1,558
光星泌尿器科医院	16,030	3,206
五輪橋内科病院	4,130	826
札幌北クリニック	71,870	14,374
札幌南一条病院	9,260	1,852
しらかば泌尿器科クリニック	22,290	4,458
澄腎クリニック	10,500	2,100
ていね泌尿器科	77,300	15,460
中野医院	13,840	2,768

施設名	販売売上額	還元金
福住泌尿器科クリニック	17,000	3,400
保坂内科クリニック	6,800	1,360
星野泌尿器科	32,720	6,544
宮の森記念病院	9,000	1,800
山本医院	22,110	4,422
石狩病院	5,620	1,124
個人会員(2名)	9,340	1,868
合計	393,190	78,638

※札幌腎友会の販売益は102,954円です

平成21年度 国会請願署名募金結果報告

全国腎臓病協議会「腎疾患総合対策」の早期確立を要望する国会請願署名・募金及び、日本難病・疾病団体協議会（JPA）の「難病、長期慢性疾患・小児性疾患」の総合対策を求める国会請願署名・募金にご協力をありがとうございました。

◎平成22年1月31日現在 ○募金額単位：円

施設名	全 腎 協				J P A			
	署名数		募金額		署名数		募金数	
	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度
石川泌尿器科	441	308	10,000	6,000	391	250	0	0
稲積公園駅前クリニック	488	330	17,500	14,000	389	310	4,000	3,000
いのけ医院	140	190	0	0	140	200	0	0
H・N・メディック	239	176	1,000	6,500	206	162	5,500	0
H・N・メディックさっぽろ東	104	21	1,000	2,000		21	0	0
NTT東日本札幌病院	116	103	19,000	6,000	116	93	0	0
小笠原クリニック付属外来プラザ	63	71	3,200	5,000	61	65	1,000	500
勤医協中央病院	370	384	29,400	31,000	322	368	1,000	4,000
クボタ泌尿器科クリニック	30	38	1,000	2,000	30	37	0	0
クリニック198札幌	142	57	8,000	1,000	133	90	0	0
KKR札幌医療センター	25	0	13,000	0	0	0	0	0
光星泌尿器科医院	54	90	2,700	4,000	54	90	0	0
五輪橋内科病院	193	170	22,000	26,500	211	128	0	1,500
坂泌尿器科病院	90	56	4,000	2,000	90	56	0	1,000
札幌北クリニック	692	316	54,100	35,367	601	336	918	500
札幌厚生病院	0	0	0	0	0	0	0	0
札幌センチュリー病院	86	43	6,000	5,000	84	28	1,000	0
札幌セントラルクリニック	130	150	2,500	1,245	130	120	0	240
札幌中央病院	31	40	0	0	20	40	0	0
札幌東クリニック	331	344	13,000	13,000	311	347	5,000	5,000
札幌北榆病院	728	374	28,800	27,000	717	365	3,300	2,000
札幌南一条病院	629	608	32,400	27,000	443	545	0	1,500
三樹会病院	296	407	7,000	8,500	310	400	0	1,500
JR札幌鉄道病院	180	130	4,500	4,000	180	130	500	1,000
篠路はまなすクリニック	244	193	15,250	6,500	226	205	0	2,500

施設名	全 腎 協				J P A			
	署名数		募金額		署名数		募金数	
	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度	20年度	21年度
しらかば泌尿器科クリニック	109	80	3,000	0	109	90	0	0
市立札幌病院	200	120	12,000	11,000	200	120	1,000	500
仁楡会病院	253	182	18,300	9,000	216	109	1,800	2,000
澄腎クリニック	616	522	21,000	9,600	606	522	0	500
桑園中央病院	59	210	1,000	6,200	49	200	0	4,200
田島クリニック	475	330	11,600	8,100	475	320	1,400	1,000
手稲ネフロクリニック	424	240	10,000	2,000	359	230	0	0
ていね泌尿器科	746	421	18,133	14,309	670	417	4,650	3,500
中野医院	151	150	7,500	8,150	121	140	3,000	3,950
新井田医院	350	380	10,000	11,000	350	380	0	2,000
東苗穂病院	7	80	0	3,000	7	80	0	0
広田医院	30	40	1,500	3,000	30	40	0	1,000
福住泌尿器科クリニック	150	85	12,000	14,500	150	85	0	4,000
保坂内科クリニック	180	97	9,000	2,000	170	107	1,000	3,000
星野泌尿器科	197	235	13,000	22,000	197	129	10,000	0
北光記念病院	128	195	5,000	7,000	88	160	0	0
萬田記念病院	37	58	0	0	37	60	0	0
宮の沢泌尿器科クリニック	23	36	2,000	1,000	23	36	0	1,000
宮の森記念病院	360	350	16,000	15,000	320	350	0	0
もなみクリニック	40	58	7,000	0	40	50	0	0
山本医院	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆうあいクリニック	28	20	2,000	1,000	28	20	0	0
40条クリニック	0	3	0	0	0	0	0	0
石狩病院	46	0	0	0	46	0	0	0
H・N・メディック北広島	236	297	11,000	9,500	226	288	0	3,000
はまなす医院	25	47	7,000	2,000	24	48	0	7,000
恵み野病院	2	1	0	1,000	2	1	0	0
恵庭クリニック	50	57	0	0	50	57	0	0
個人会員	325	185	28,000	26,500	300	224	1,000	5,500
その他	31	30	0	0	13	54	0	0
合計	11,280	9,108	521,383	420,471	10,190	8,703	46,063	66,390

札幌腎友会配分金（全腎協募金65%）273,306円、JPA配分金なし
今年度の全腎協国会請願は3月25日に行われる予定です。

ふさわしい最適な治療を受けましょう。

	血液透析	腹膜透析	腎移植
旅行・出張	制限あり(通院透析施設の確保)	制限あり(透析液・装置の準備)	自由
スポーツ	自由	腹圧がかからないように	移植部保護以外自由
妊娠・出産	困難を伴う	困難を伴う	腎機能良好なら可能
感染の注意	必要	やや必要	重要
入浴	透析後はシャワーが望ましい	腹膜カテーテルの保護必要	問題ない
その他のメリット	医学的ケアが常に提供される、最も日本で実績のある治療方法	血液透析にくらべて自由度が高い	透析による束縛からの精神的・肉体的解放
その他のデメリット	バスキュラーアクセスの問題(閉塞・感染・出血・穿刺痛・ブラッドアクセス作成困難) 除水による血圧低下	腹部症状(腹が張る等) カテーテル感染・異常 腹膜炎の可能性 蛋白の透析液への喪失 腹膜の透析膜としての寿命がある(10年位)	免疫抑制薬の副作用 拒絶反応などによる腎機能障害・透析再導入の可能性 移植腎喪失への不安

相談し、自分に最もあった治療法を考えてみてください。

■体質、体調、ライフスタイルなど、自分の状態

	血液透析	腹膜透析	腎移植
腎機能	悪いまま（貧血・骨代謝異常・アミロイド沈着・動脈硬化・低栄養などの問題は十分な解決ができない）		かなり正常に近い
必要な薬剤	慢性腎不全の諸問題に対する薬剤（貧血・骨代謝異常・高血圧など）		免疫抑制薬とその副作用に対する薬剤
生存予後	移植に比べ悪い		優れている
心筋梗塞・心不全 脳梗塞の合併	多い		透析に比べ少ない
生活の質	移植に比べ悪い		優れている
生活の制約	多い （週3回、1回4時間 程度の通院治療）	やや多い （透析液交換・装置の セットアップの手間）	ほとんど無い
社会復帰率	低い		高い
食事・飲水の制限	多い（蛋白・水・塩分・ カリウム・リン）	やや多い （水・水分・リン）	少ない
手術の内容	バスキュラーアクセス（シャント） （小手術・局所麻酔）	腹膜透析カテーテル 挿入 （中規模手術）	腎移植術（大規模手術・全身麻酔）
通院回数	週に3回	月に1～2回程度	移植後1年以降は月に1回

●これらの説明や比較の表をご覧になったうえで、担当の医師と

〔ご 訃 報〕

新井 静子さん



平成二十二年二月二四日ご逝去されました。

平成一一年度から平成一八年度まで札幌北楡病院の幹事として活躍されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



〈事務局活動経過報告〉

- 11月5日 近郊市長宛、新型インフルエンザの対応に対しての要望書送付(北広島市、石狩市、恵庭市)
 - 11月12日 『ぜんじんきょう』 No.236発送
 - 11月15日 組織検討委員会(5名)
 - 11月19日 『生きる仲間』第90号発行
 - 11月24日 事務局打合わせ(5名)
 - 12月13日 組織検討委員会(8名)
 - 12月17日 『どうじん』第128号発送
- 平成22年
- 1月10日 組織検討委員会(7名)
 - 1月12日 『ぜんじんきょう』 No.237号発送
 - 1月12日 ボウリング大会実行委員会(3名)
 - 1月17日 運営委員会(仮称)(13名)
 - 1月17日 幹事新年会(KKRホテル札幌19名)
 - 1月21日 ボウリング大会案内発送
 - 1月28日 編集委員会(5名)
 - 2月7日 組織検討委員会(7名)
 - 2月14日 親睦ボウリング大会(サッポロオリンピックアボウル56名)
 - 2月28日 幹事会打合せ(10名)
 - 3月9日 『ぜんじんきょう』 No.238号発送
第3回幹事会資料発送
 - 3月14日 第3回幹事会(北区民センター)
 - 3月25日 『生きる仲間』第91号発行

■事務局だより■

- ◎ご寄付を頂戴しています。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。
- ・中野 幸雄先生(中野医院) 11,531円
- ・故片桐 俊子様(保坂内科クリニック)
(故人ご遺志により) 1,000,000円
- ・故石田尾 彩子様(愛心メモリアル病院、個人会員)
(故人ご遺志により) 100,000円
- ・高橋 健二様(宮の森記念病院)
商品券 3,000円分
- ◎望月 悦子様(五輪橋内科病院) 切手
- ◎滝野 欣二様(萬田記念病院)
青い鳥はがきと普通はがき
- ◎相川 信子様(福住泌尿器科クリニック)
はがき

●訂正のお知らせとお詫び

『生きる仲間』90号において、ご訃報欄の故片桐俊子様ご経歴を平成2年度～平成3年度に、又施設名を清田泌尿器科と訂正させていただきます。お詫び申し上げます。

2頁の鈴木敬三は鈴木啓三と訂正させていただきます。

14頁 星野泌尿器科 小林尚子は水林尚子様と訂正させていただきます。お詫び申し上げます。